

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 2年 1月 17日

事業所名 多機能型事業所 ミルキーウェイ

保護者等数（児童数）14名 回収数 14名 割合 100 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	1		1	広さは無いがスペースが分けられている。	限られたスペースの中で安心・安全に過ごせる空間を確保できるよう、活動時に過ごす場所を変えたり、収納の工夫をしています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8			4	毎日きちんと対応してもらっている。	配置基準を満たしたスタッフの配置で支援を行い、研修等で支援の質の向上を図っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11			2	屋内にある段差も、危なくない様に必ず職員が付き添い対応してもらっている。	生活空間に段差があり、車いすからの移乗の際は抱えて移乗し、移動時には必ず見守りを行い対応している。又、床にはクッション材を使用し転倒やけが防止に配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12			1	毎日、清掃され、過ごしやすい環境だと思う。	その日の利用人数を考慮した上で、限られた空間を利用し、楽しめる活動を取り入れる様にしています。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	12			1	子供をよくみて実態を把握した上で計画を作成され家での過ごし方の参考になる。	計画作成前にアセスメントを実施しニーズや課題を汲み取り、支援計画に反映させるようにしています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12			1	計画書は項目一つ一つを丁寧に書いてもらっている又、具体的な支援内容が計画されている	個別支援計画書の発達支援の中でも、（健康・生活）（言語・コミュニケーション・人間関係・社会性）等個々のニーズや課題に応じて必要な項目を選択し目標にあげ、目標が達成できるよう支援の内容を考えるようにしている。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13				本人の成長を感じる事ができるので実施されていると思う	各部屋に提示し子供達の目標や支援内容を常時確認でき、統一した支援ができるように現在、作成をしています。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	12				色々な活動内容でとても充実している	活動が固定化しないように、様々職種のスタッフで話し合い、子供達が興味を示し楽しめる活動となるよう支援していきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	7	まったく無い訳では無いが少ないと思う	本年度より年1回地域の幼稚園を訪問し、幼稚園のお友達と遊びを通して交流をする。今後も継続して交流ができればと考えています。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13					利用契約時に契約書と重要事項説明書を保護者様へ説明を行っています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	13				口頭で説明してもらい助かる	半年に一度、アセスメント（保護者様より聞き取った課題や要望）を反映させた計画目標とそれに沿った支援内容の説明を行い、了承を頂いています。

保 護 者 へ の 説 明 等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	11	2		ペアレントトレーニングについては分からないが、悩んでいる事も相談しやすく、それに対する助言もしてもらい助かっている	ご自宅、ご利用時の様子（できる事やできた事）を共有し沢山褒められる成功体験を積み重ね、自信や成長に繋げることができるよう適切な関わり方を保護者様と一緒に考えながら支援していきます。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13			毎日子供の状態を確認してもらい、先々の課題についてもアドバイスをもらう事がある。又、送迎時にその日の様子等伝えてもらっているが、その日の報告が無いスタッフもいて何をしたらいいのか昼食を食べたのか分からなかった	来所時に変わった様子は無いかの確認と、帰りのお迎えの際には、その日の利用時の様子をお伝えし、成長の喜びや課題を保護者様と一緒に共有できるようにしていきます。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1	1	助言や支援方法を教えてもらっている	送迎時やご家族お迎えの際に相談しやすい雰囲気や対応ができるように努めています。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	2	1	3	行事等で保護者間の交流はできていると思う	クリスマス会では保護者様同志で情報共有やお互いの悩み等相談ができる様に茶話会を企画しています。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13				職員同士の連絡ができており、相談事もその日のうちに対応と迅速に対応してもらっていると思う	ご家族の困りごとと不安感等、送迎時等を利用し臆さず取った情報はスタッフ間でも共有し、困り感が少しでも解決に向か事ができるように対応できるように努めています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12			1	情報伝達方法が整っている	送迎時に口頭で伝言やお便り、LINE、お電話等活用し情報を伝達できるようにしています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	3		1		毎月月案で活動内容や、お出掛けのご案内等お便りでお伝えしたり、緊急時対応等対応を検討し事業所評価の結果もホームページで公表しています。
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	13					担当者会議等において他サービス事業所との共有が必要な場合に使用し、関係者以外には決して漏れる事が無いように最新の通意を払ってまいります。	
非 常 時 等 の 対	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	10			3	マニュアルを作成してもらい助かっている	感染症対応マニュアルは作成し保護者様へお渡ししているが、防犯マニュアルの周知や発生を想定した訓練等不十分な所は今後見直し改善していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1		3		半年に1度火災を想定し避難訓練を実施し、災害に備えて備蓄の確保もしています。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	11	1		1	楽しんで通っている	活動や療育を充実させ「楽しい!」「行きたい!」と思ってもらえるように支援していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	13				大変満足している	利用者様、保護者様に満足して頂く為に、より良い支援ができるよう努めています。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。